第十四講・ことばの教養

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

＊いっぱいやりながら、列車時刻表（じこくひょう）を熟読（じゅくどく）するという風流人の随筆（ずいひつ）を読んだこともある。つい読みふけって時のたつのを忘（わす）れる、という。人間、さまざまな趣味（しゅみ）がある。

　そういう話に比（くら）べると、辞書を読むのは、はるかに正統的（せいとうてき）で、むしろ常識的（じょうしきてき）すぎて気がひけるくらいだ。そもそも字引きなどと言って、引くものと決めてしまっているのが①<u>おかしい</u>。

　辞書を道具と考え、必要なときにだけちょっと使い、あとは放（ほう）ったらかしにして置くのは②<u>心なき人</u>のことである。そういう辞書が本当に役立つと考えるのはすこし虫がよすぎる。人間だって頼（たの）みごとのあるときだけやってくるような＊手合（てあい）を友だちとは言うまい。ふだん用はないが、どうしているか、とたずねてくれるようであってこそ、付き合いがあると言える。

　辞書は引くものと割（わ）り切っている実用派（じつようは）はしらない語ばかりを相手にする。それでは親しみもわかない道理だ。どんな辞書にも日常よく使われることばが入っていて、こまかい説明がついているけれども、実用派はそんなところを見ることがない。せっかくの宝（たから）が眠（ねむ）ったままである。もったいない。

　辞書のおもしろさは、わかり切っていると思っていることばの項（こう）をていねいに読むことにある。そこをのみこまないと辞書とは仲良しになれない。

〈外山（とやま）　滋比古（しげひこ）「ことばの教養」より〉

＊いっぱいやる＝お酒を飲むこと。
＊手合＝連中。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「おかしい」とありますが、どのようなところが「おかしい」のですか。それを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□のことを□□□と呼んで、引くものと決めてしまっているところ。

(2)　――線②「心なき人」とは、ここではどのような人ですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　辞書を読むような常識的な人。
イ　お酒をのみながら、時刻表を読む人。
ウ　辞書を必要なときにしか引かない人。
エ　辞書を放ったらかしてまったく使わない人。

□

---

(3)　この文章で筆者が最も述べたかったことは、何ですか。文章中から二文でぬき出し、初めと終わりの四字を答えなさい。（、や。も一字と数えます。）

初め　□□□□
終わり　□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

＊いっぱいやりながら、列車時刻表を熟読するという風流人の随筆を読んだこともある。つい読みふけって時のたつのを忘れる、という。人間、さまざまな趣味がある。

そういう話に比べると、辞書を読むのは、はるかに正統的で、むしろ常識的すぎて気がひけるくらいだ。そもそも字引きなどと言って、引くものと決めてしまっているのがおかしい。

辞書を道具と考え、必要なときにだけちょっと使い、あとは放ったらかしにして置くのは心なき人のことである。そういう辞書が本当に役立つと考えるのはすこし虫がよすぎる。人間だって①頼みごとのあるときだけやってくるような＊手合を友だちとは言うまい。ふだん用はないが、どうしているか、とたずねてくれるようであってこそ、付き合いがあると言える。

辞書は引くものと割り切っている実用派はしらない語ばかりを相手にする。それでは親しみもわかない道理だ。どんな辞書にも日常よく使われることばが入っていて、こまかい説明がついているけれども、実用派はそんなところを見ることがない。せっかくの②宝が眠ったままである。もったいない。

辞書のおもしろさは、わかり切っていると思っていることばの項をていねいに読むことにある。そこをのみこまないと辞書とは仲良しになれない。

〈外山　滋比古「ことばの教養」より〉

＊いっぱいやる＝お酒を飲むこと。

＊手合＝連中。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ——線①「頼みごとのあるときだけやってくる」とありますが、これは辞書のどのような使い方をたとえたものですか。それを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

辞書を［　　］と考えて、必要なときだけ使い、それ以外は［　　　　　　］にして置くような使い方。

(2) ——線②「宝」とありますが、これを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

辞書の中の、こまかい［　　］がついていることばの［　　　　　　　　］こと。

(3) この文章で述（の）べられている内容（ないよう）としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　辞書を読むより、列車時刻表を読むほうが常識的だ。

イ　辞書を放ったらかしておくのは心ない人のすることだ。

ウ　辞書のおもしろさは、しらない語をよく読むことだ。

エ　実用派は、辞書でよく使われることばばかり引く。

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講・確認テスト

次の中から対義語を選びなさい。

1 絶対
ア 反対　イ 相対
ウ 部分　エ 対応

2 減少
ア 加点　イ 過大
ウ 増加　エ 過分

3 理想
ア 現実　イ 想像
ウ 状態　エ 事件

4 解散
ア 群衆（ぐんしゅう）　イ 文集
ウ 集合　エ 集団

5 安心
ア 心労　イ 安全
ウ 放心　エ 心配

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十四講　ことばの教養

一題目

(1) 辞書・字引き
(2) ウ
(3) 初め……辞書のお
終わり…れない。

二題目

(1) 道具・放ったらかし
(2) 説明・日常よく使われる
(3) イ

〈確認テストの解答〉

１ イ　２ ウ　３ ア　４ ウ　５ エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。